メカニカルジョイントの引抜試験に関する事項

改正要領

船用材料・機器等の承認及び認定要領

改正事項

メカニカルジョイントの引抜試験に関する事項

改正理由

配管継手として用いられるメカニカルジョイントには、設計圧力まで加圧することで生じる軸方向荷重を受けても、管が外れないことを確認する引抜試験が要求されている。同規定は、IACS 統一規則 P2.11 の一部として定められており、本会も船用材料・機器等の承認及び認定要領に取入れている。

現行の当該試験では、メカニカルジョイントの内部に設計圧力を負荷することにより軸方向荷重に対する健全性を確認しているが、実質的に配管装置全体に作用する振動や熱膨張による付加的な軸方向荷重の影響も考慮に入れる必要があることから、IACS は、当該試験方法の見直しを行っていた。その結果、従来要求している設計圧力の負荷に加え、外力による荷重を負荷する試験方法に改め、2012 年 9 月に IACS 統一規則 P2.11(Rev.3)として採択した。

今般、IACS 統一規則 P2.11(Rev.3)に基づき、関連規定を改めた。

改正内容

メカニカルジョイントの引抜試験について、設計圧力を負荷すると同時に軸方向外部荷重を負荷する試験方法とする旨改めた。